



0

(ゼロ)

を目指して

レジ袋 & ポイ捨て

お店で買い物をするとき、レジ袋をもらわずマイバッグを使う方が増えています。また、地域のボランティア清掃活動の取組みも活発になりつつあります。

佐渡を美しくする、ちよとした心がけが市民の皆さんに広がっています。

マイバッグを使って レジ袋ゼロ

市では全国の自治体に先駆けて、平成19年4月から市内全域で「レジ袋ゼロ運動」に取り組んでいます。

マイバッグでゴミ減量・環境保全

「レジ袋」は、お店で買い物をしたときに商品を持ち帰るために使われますが、その多くは各家庭にしまいこまれ、その後ごみとして捨てられています。ごみ焼却の際には地球温暖化の原因となる二酸化炭素が発生します。

買い物するときにはマイバッグを持参して「レジ袋」を断れば、レジ袋の材料となる石油資源を節約でき、ごみの減量化にもつながります。

協力店は195店に

「レジ袋ゼロ運動」の趣旨に賛同し、ご協力をいただいている店舗は195店舗（4月1日現在）になりました。協力店では、「レジ袋」の有料化や、マイバッグを持参した方への還元などを行なっています。有料化に伴う収益金については、県で推進しているカーボンオフセット事業に市として協力し、事業者には還元金を市の環境保全事業（森林整備）に提供してもらう取組みを進めています。



「レジ袋ゼロ運動」協力店では、ほとんどの方がマイバッグを持参されています。

